

平成23年度 小千谷市家庭科部会の取組

1 はじめに

小千谷市教育研究会では、今年度4教科部会に全員が所属したので、家庭科部会としての活動はない。そこで、教育課程の家庭科に参加した職員の報告と、自校の取組の報告とする。

2 教育課程研究集会伝達講習から（市内の学校にメール送信、各校の校内研修で活用）

（1）評価の観点と新しい評価の観念の趣旨

「生活の技能」「家庭生活についての知識・理解」においては、小学校で学習する基礎的・基本的な技能が中学校の学習に発展していくものとして明確に意識され、着実な定着につながることをめざしている。そのことから、観念に「日常生活に必要な」「基本的な」を追加している。

（2）各観念の評価における配慮事項

① 家庭生活への関心・意欲・態度について

「自分の成長を自覚できたか」についてはある程度長い区切りの中で子どもの変容を評価することが重要である。

② 生活を創意工夫する能力について

問題解決的な学習を重視していることから、結果としての創意工夫だけでなく、いろいろと考えて良い方法を得ようと自分なりに工夫する過程を含めて評価することが重要である。

（3）「言語活動の充実」について

①家庭科においては、衣食住などの生活にかかわる言葉について実感を伴った理解をさせる。

②問題解決的な学習の充実を図り、比較実験や調査活動の結果から分かったことや考えたことを言葉にまとめ、それを発表し合うなどの活動を充実させる。

（4）長岡市立山谷沢小学校 金澤ふじみ校長

- ・ これまで行ってきた言語活動を把握・検証することが大事である。
- ・ 言語活動を意識して教師が取り組むことで授業改善につながる。

3 当校の実践から（体験を通じた言語活動の充実にこだわって）



①



②

① ミシンを使った直線縫い、返し縫いの実践。

② 野菜の切り方の実践。みじん切り、輪切り、千切り。